

## あとがき

2020年5月、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、先行きが不透明で見通しが立たない中、街の商業振興やまちづくりを担う当組合の下部組織である「活性化委員会」の責任者に就任しました。多くの人が集まることや賑わいを創出すること自体も自粛を求められる中、例年行われているイベントや取り組みも中止せざるを得ない状況が続きました。それは、ウィズコロナを見据えながら、自分たちに何ができるのかを自問自答し、模索し続けた2020年でした。

こうした状況下で、「在野の知的財産の集積」を目的とした『地域の論点』の編纂事業は、まさに時代に沿ったものだと思います。市井の皆さんのアイデアを持ち寄り、新たな社会生活へのヒントや方向性を見出すきっかけに少しでもなればと考え取り組んできました。

今回の『地域の論点 2021』は、若者や女性に焦点を当てることをテーマにしました。ここ最近の世相は、災害やコロナ禍、賑わいのない街、疑うことから始まる人間関係など、暗い話題ばかりですが、こうした日常に光を照らすことが出来るのは、若者や女性の行動とそれを支える地域社会ではないでしょうか。

多くの想いや活動を「実践知として可視化するため」に編纂スタッフと執筆者が何度も何度も校正を繰り返しました。こうした積み重ねを続けて、総勢12の個人や団体の皆さまから教育、福祉、まちづくり、ボランティア、地域スポーツ、地域経済、地域社会、コミュニティ、文化、観光など多岐にわたるテーマ及び視点から執筆していただきました。現場視点の実践知には、これからに向けてのヒントが多くあり、大変読み応えのある論集になっています。

こうした私たちのチャレンジは、「在野の知的財産の集積」を目的としたゴールなき、現場のみんなで襷を繋ぐ駅伝のようなものです。最初の一步二歩は誰も知らない、それは小さな一步ですが、いつかみんなの熱い想いと汗がしみ込んだ襷とともに、走りつないだ足跡が将来を生きる多くの人たちの心の中に残ることを私たちは心から願っています。

最後になりますが、これまで執筆及び編纂作業にご協力していただいた多くの皆さまのご紹介はできませんが、ここに活性化委員会の責任者として深く御礼を申し上げます。

令和 3年 3月 吉日  
南石堂町商店街振興組合  
活性化委員長 滝口 誠